

介護サービスについて

代表質問

政友自民クラブ

櫻井 潤一郎 議員



令和8年度  
予算編成について

**質問**…要介護認定者の推移について伺います。

**答弁**…令和4年度が2881人、令和5年度が2780人、令和6年度が2781人で、全体の傾向としては横ばいで推移しています。

**質問**…介護施設の入居待機者数の推移について伺います。

**答弁**…令和4年度が236件、令和5年度が206件、令和6

年度が205件で、令和8年2月1日時点では166件となっております。傾向としては、待機件数は減少傾向です。

**質問**…在宅サービスの利用状況について伺います。

**答弁**…令和4年度が1万2129件、給付額4億3180万円、令和5年度が1万3555件、給付額4億4690万円、令和6年度が1万4102件、給付

額4億6114万円であり、件数、給付額ともに毎年度増加しています。そのほか福祉用具貸与、居宅介護住宅改修費給付なども併せて実施しています。市が独自に提供している在宅サービスとしては、高齢者等紙おむつ給付、寝たきり高齢者等介護手当支給、高齢者等外出支援や高齢者等給食サービスなどです。

**質問**…予算案から除外された事業について伺います。

**答弁**…那須野農業協同組合が実施する穀類共同乾燥調製施設建設の支援に要する経費や県営圃場整備事業の負担金など、国の補正予算に基づき3月補正に前倒した経費が約3億400万円、美原公園再整備事業の整備スケジュールの見直しにより減額となった経費が約2億700

0万円、決算額や今年度の実績などを考慮して金額を精査したものが約2億5600万円となっていて、各課等から予算要求があった事業で除外したものはありません。

**質問**…国・県等に依存する財源の確保について伺います。

**答弁**…令和8年度予算案における自主財源の比率は41.4%、依存財源の比率は58.6%とな

っており、自主財源の比率が低く、依然として国県支出金や地方交付税、地方債などに依存した財政構造となっている状況です。国県支出金については、予算編成方針においても、国や県の補助金等の総点検を行い、活用可能な補助金等があれば積極的に確保することと明記しており、事業実施の財源として最大限に活用しています。